

## 令和6年度知事定例記者会見[抜粋]

令和6年4月26日 知事定例記者会見[抜粋]

○朝日新聞

すみません、手短に。新幹線の問題で、かねてから地元での話合いの場というのを呼びかけておられて、いろいろ調整されている段階かと思うんですけど、その現状、見通しをちょっと伺えればと思います。

○知事

今日は、大体いつも4月の会見で新幹線の話が多いんですけども、ぜひ、我々も率直に、記者の皆さん方に説明をさせていただいて、意見交換をしながら進めたいと思います。何となく、ぱっと見ると、佐賀が何かをしているという、通せんぼしているとか勘違いしている人がおられますので、ぜひね、そういったところは、話せば分かるんです。話せば分かるんですけども、話すには一定の時間が必要なので、ぜひそういったところを、我々も努力をしていきたいと思います。これまでには様々な経緯があって、佐賀県なりの苦渋の考え方というのものもあるし、そういったところについての説明をこれからもしていきたいと思います。

そして、もともと新幹線の問題というのは、佐賀県が長崎県のことと考えて、そしてJR九州さんと一緒になって、佐賀県も大きな犠牲を負う中で、佐賀の、いわゆる新鳥栖-武雄温泉間については、在来線を通る新幹線、いわゆるフリーゲージトレイン、フリーゲージトレインという可変型車両によって新幹線整備を行うというところまで妥結していたわけです。ですので、そこが、国がフリーゲージトレインという、佐賀県は在来線よという合意だったのに、そこが通れなくなったから、いきなり我々が合意したこともないフル規格ということに乗り出してきてというところに一つの大きな問題があって、課題があると思うんです。

なので、フリーゲージトレインが断念されたわけで、そういった意味では、あくまでも新幹線整備というのは地元の意思に基づいてやるという整備スキームだから、原点は地元なんですよね。なので、地元でもう一回話し合いたい。これまでいろんなことがあったけれども、率直に意見交換をしたいということで、JR九州さんと長崎県さんと意見交換をしたいということで考えておりました、5月13日の月曜日に実施をしたいということでございます。よろしく申し上げます。